

2025年度 講師派遣活動記録

整理番号: 20250509

事業名	環境教育およびエコロジカルライフを実践するための講座開催事業		
活動名	浜松市環境部 環境学習指導員養成講座		
担当者	高根 美保	主催団体	NPO法人エコライフはままつ
事業区分	講師派遣	事業サイクル	継続事業
活動の目的			
環境行動を学び実践できる人を育てる。			
実施内容			
活動日時	2025年5月14日(金) 10:00~11:30		
活動場所	浜松市立西部清掃工場 えこはま (浜松市中央区篠原町26098-1)		
活動者名	村河(工場見学案内)、高根(環境学習)		
詳細	循環型社会の実現に向けた資源循環の強化 ・ごみって何? ・廃棄物法について ・ごみの歴史 ・清掃工場をつくるには・・・ ・西部清掃工場見学 ・啓発施設「えこはま」の活動紹介		
事業の成果	参加者 新入社員 6名+引率2名(株式会社川嶋) 配布物:清掃工場パンフレット、紙容器リサイクル事業メモ帳、リサイクルボールペン <参加者の声> ・生活している中で、ごみの分別は大切なことだと感じた。ごみをへらすことを大切にしていきたいと感じた。 ・ごみを減らすことによって豊かな自然を守り育てることが出来る。お金の節約にもなることを学ぶことができました。 ・リサイクルをするためには分別することが大切だと思いました。 ・「生活には休みがない」「ごみになる時間」など当たり前のことであるが身近で見えていない部分に触れる機会であった。 ・環境問題にはお金がかかり延長線上には私たちの税金や将来にもかかわると気づいた。そのために分別のルールやリサイクルの意識が身についた。 ・ごみの処分は、浜松市がお金を払ってやっているのだと初めて知りました。なので、ごみは出来るだけ出さないように、私も3Rに貢献していきたいと思います。 ・リサイクルにはルールがあり、そのルールを守らなければリサイクル出来るものもごみになってしまうことを学んだので気を付けたいと思った。 ※リサイクル実践(紙容器リサイクル 2.05kg、ハブラシリサイクル 13本 0.15kg、アルミ付き紙パックリサイクル 0.05kg) ごみ減量 2.25kg		
事業の課題	・ごみ処理にお金(税金)がかかっていることへの意識が薄い。ごみ減量行動にインセンティブがつけば参加しやすくなる。との意見があったがそもそも誰のためでもなく自分のためであることの意識が薄い。		

